



「花様年華～これまでの歴史の最終章～」

校長 三田 和弘

「暑さ寒さも彼岸まで」という慣用句がありますが、今週はだいぶ過ごしやすい気候となりました。

「団結・創造」の第3ステージが始まり、朝のグラウンドでは「いち、にい……」と大きなかけ声で大縄跳びの練習が始まります。その15分後には、きれいなハーモニーを生み出そうと熱のこもった歌声が教室から聞こえてきます。2週間後の10月10日(木)は、いよいよ葵流祭文化の部・体育の部となります。「花様年華(かようねんか)～これまでの歴史の最終章～」をスローガンに掲げ、練習を積み重ねた生徒たち一人一人の成長した姿をご覧くださいことができると思います。



スローガン「花様年華」には、人生の中で最も美しい時という意味があるようです。考案者の3年岡田さんによると「今までの天城中で、最も美しく、最高の葵流祭」にしたいとの思いを込めたようです。

昇降口前には、「みんなで力を合わせる」「たくさん練習する」「全力でやる」「全力で働く」「協力する」といった、生徒一人一人の意気込みが掲示されています。全力を出すための力は、練習によってつきます。生徒たちの練習は始まったばかりですが、その練習の様子を見ると、日に日に力がついてくのだろうと感じます。本番では一体どれくらいの力を発揮してくれるのだろうかと期待せずにはられません。そして、全力で取り組んだ先にあるものは何でしょうか。「勝利」ということもあると思いますが、他のこともあると思います。

私は、葵流祭の本番はもとより、そこまでの取り組みがとても大切だと考えています。競技やコンクールには勝ち負けがあり、それは大切な要素です。しかし、生徒たちは、葵流祭の楽しさ、価値はそれだけではないことをわかり始めてます。スローガンや生徒の意気込みの中に、思いをくんだ目標達成の糸口があるように思います。実は答えなのかもしれません。「継続した取り組み、協力、フェアプレーなど」様々なことを養うことができたらと思っています。

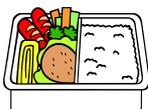
これから行われる一つ一つの行事に「最後の」がつく半年。体育大会や合唱コンクールへの賛否があることは承知していますが、学校での行事が生徒にとって魅力あるものに工夫し、全生徒、教職員の総力を挙げて「最後の葵流祭」に取り組んで参ります。

「実りの秋」にふさわしい日々となりますように、2学期も学校と家庭がさらに協働し、生徒の夢や希望を紡ぐ学期にしたいと思います。ご支援・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

～主な予定～

10月

弁当の日



10日、11日、21日

- 10/3(木) 葵流祭総練習
- 10(木) 葵流祭文化の部・体育の部
- 11(金) 体育の部予備日
- 15(火) 学校運営協議会 私立説明会【3年生】
- 17(木) 中伊豆中学校との合唱交流
- 18(金) 朝礼 防犯訓練
- 21(月) 地域学習 教育実習生【1年A組】
- 22(火) 朝礼 IV期スタート
- 24(木) 合同音楽鑑賞会【天城中、中伊豆中、修善寺中】